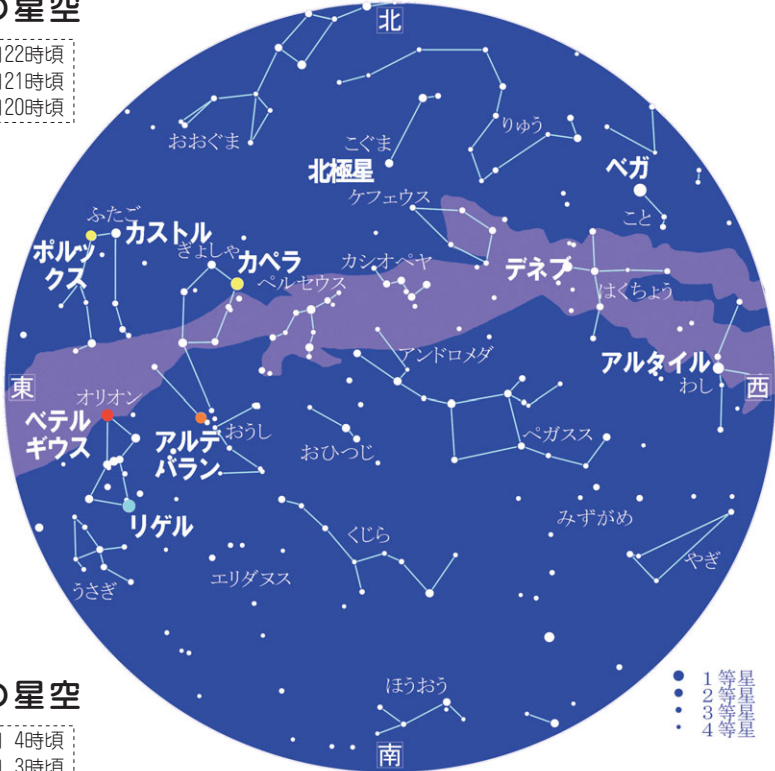




★星空ガイド 11月16日～12月15日

よいの星空

11月16日 22時頃
12月 1日 21時頃
15日 20時頃



あけの星空

11月16日 4時頃
12月 1日 3時頃
15日 2時頃



[太陽と月の出入り(大阪)]

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
11	16	日	6:32	16:52	0:21	13:11	23.2
	21	金	6:36	16:50	4:59	16:03	28.2
	26	水	6:41	16:48	9:48	20:34	3.6
12	1	月	6:46	16:47	13:18	0:54	8.6
	6	土	6:50	16:47	16:50	6:07	13.6
	11	木	6:54	16:47	21:17	10:03	18.6
	15	月	6:57	16:48	--:--	12:14	22.6

※惑星は2014年12月1日の位置です。

<ガリオ衛星の相互食>

現在、4つの木星のガリオ衛星のうち、ある衛星がほかの衛星の影に入って暗くなったり、あるいは2つの衛星がぴったり重なったりする、相互食と呼ばれる現象が頻繁に起こっています。



11月23日の相互食の様子
(ステラナビゲーターにて作成)

下表は、この1ヶ月間に起こる相互食のうち、比較の見やすいものの一覧です。ガリオ衛星は、小型望遠鏡を使えば簡単に見ることができます。望遠鏡を使えば、相互食を起こす衛星の明るさが変化する様子が見られるでしょう。

月日	開始時刻	終了時刻	現象	減光量
11月23日	1時31.4分	1時38.0分	ガニメデがイオをかくす	49%
11月26日	4時 7.3分	5時35.5分	ガニメデの影にカリストが入る	22%
11月30日	4時20.1分	4時27.2分	ガニメデがイオをかくす	49%
12月15日	3時25.4分	4時33.4分	ガニメデがイオをかくす	49%

<ふたご座流星群>

12月14日から15日にかけて、ふたご座流星群が極大になります。この流星群は毎年1時間あたり20~30個程度の安定した数の流れ星が流れるのが特徴です。大阪市内のような街灯りの明るい場所でも、1時間に数個程度は見る事ができるでしょう。放射点が日の入りとともに東の空に現れることから、ほぼ一晩中流れ星を見ることが出来ます。ただしこの夜の月は下弦の月で、大阪では14日23時57分に昇ってくるため、これより前の夜半ごろまでが観測に適した時間帯になります。

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
11	19	水	木星が西矩/土星が合
	20	木	明け方に月とスピカがならぶ
	22	土	●新月(22時)/小雪 明け方に月と水星がならぶ
	23	日	勤労感謝の日 ガニメデがイオをかくす
	26	水	月と火星がならぶ ガニメデの影にカリストが入る
	28	金	月が最近(369827km)
	29	土	●上弦(19時)
	30	日	ガニメデがイオをかくす

月	日	曜	主な天文現象など
12	6	土	○満月(21時) 月とアルデバランがならぶ
	7	日	大雪
	8	月	水星が外合
	12	金	火星が近日点通過 明け方に月と木星がならぶ
	13	土	月が最遠(404581km) 明け方に月とレグルスがならぶ
	14	日	●下弦(22時) ふたご座流星群極大(18時)
	15	月	ガニメデがイオをかくす

江越 航(科学館学芸員)